

広島県海域における藻場ビジョン

広島県海域



【藻場の創造・保全に向けた対策実施個所及び対策内容】

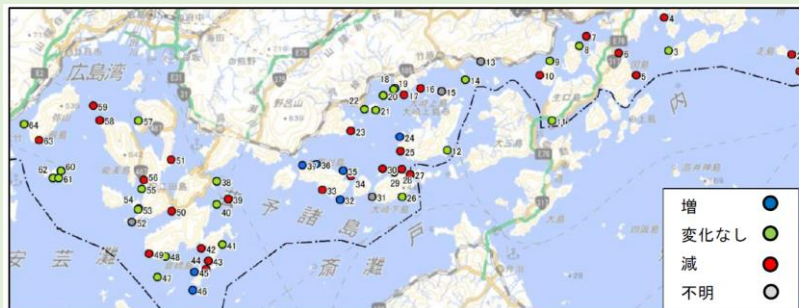
キジハタ、ナマコ等の水産重要種の稚仔魚期における生育環境を改善するため、投石による着定基質の設置等により、令和8年度までに14.0haのガラモ場（増殖場）を造成するとともに、母藻の移植や播種、食害対策等を行い、効果的な藻場の保全・管理を行う。また、県中部中心に発達しているアマモ場については、移植・播種等のソフト対策により、現存藻場の保全を図る。

本海域の藻場の現状

藻場面積の変化



ガラモ場の増減（H3・R3比較）



島嶼部を中心にガラモ場が衰退

ガラモ場の衰退要因



創造・保全に向けた対策

対象種



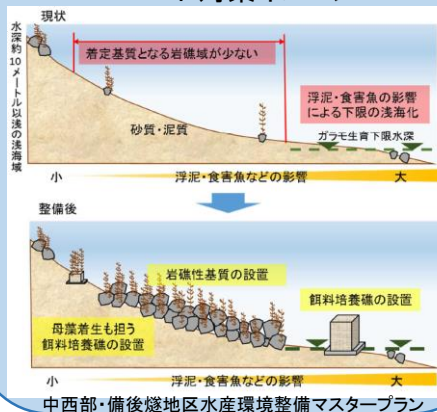
ハード対策



ソフト対策



ハード対策イメージ



ビジョンの見直し、効果的な整備・管理

対策の評価・実施体制

広島県域藻場ビジョン評価・検証会議（仮称）
 広島県、市町、漁業関係者（漁協）、多面的活動組織、教育・研究機関

事業・活動実施主体

広島県、市町、漁業関係者（漁協）、多面的活動組織（大崎上島地域の海辺を守る会）

検証

継続実施

モニタリング・検証

〔モニタリング〕
 漁場開発面積等（年1回）
 ・藻場面積
 ・藻場種類
 ・被度
 ・磯焼けの状況（食害、枯死など）

海域全体（5年に1回）
 ・藻場面積
 ・藻場種類